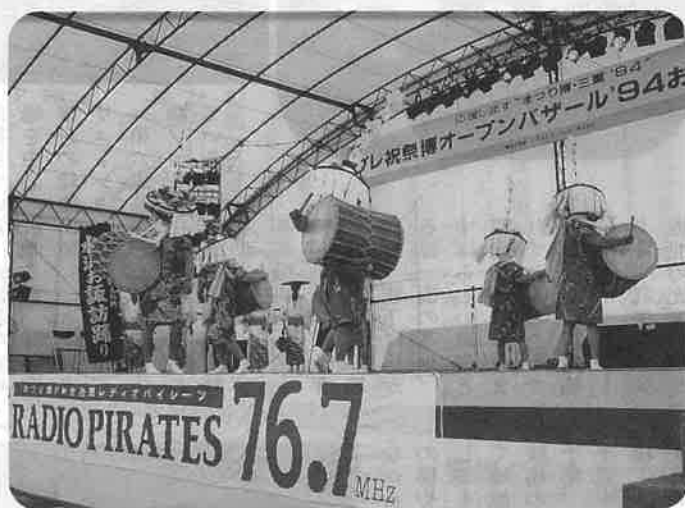


桜のつぼみもほころび始めた4月2日、プレ祝祭博オープンバザール'94が四日市市内中心部で催されました。会場（博物館東市民公園）の「おまつり舞台」では、水沢の「お諏訪おどり」が出演しました。

6名の若者達は笛と歌に合わせて、舞台狭しと踊り、大きな拍手を浴びました。

なお、今年伊勢市で開催される「まつり博・三重'94」の市町村デー（10月9日）に出演します。

ぜひ、応援に出かけて行きたいですね。



若さと躍動



ポパイに学べ “夏野菜にトライ”

昭和五十九年度から平成二年度まで、調査されたデータから、水沢地区は四日市市全体と比較してみると、心臓病や脳卒中、ガンで、三十歳から五十九歳の死亡率の高いことが判明しました。

このため平成五年度、生活習慣改善事業（水沢町はモデル地区）の中で行われた、四日市市保健センター主催の八月、九月、十月にわたって、食事調査、およびアンケートによる基本健康調査の結果も同様でした。

美しい自然と、おいしいお茶の町、水沢にあって、働き盛りの人に成人病の多いことの重要性をみんなで認識して、さっそく取り組んでいかなければならないと思います。

それには、まず、運動や休養を十分とってストレスを解消、動物性脂肪や塩分をとりすぎないように、食生活の改善に気をつけたいものです。

そこで、肉や魚を食べるのと並行して、野菜をたっぷり摂ることが大切で、庭の片隅で、花を栽培するのと同じに、人参やピーマン、ホウレン草等、また夏野菜にも挑戦してみてもいいでしょう。

そして、色とり豊かな食卓を囲んで、楽しいひとときをもつことで、ひと味もふた味もおいしくなると思っています。

※ホウレン草は、各種ビタミン、鉄分、ミネラルなどを豊富に含み栄養価の高い野菜。

おひたし、油いため、ゴマあえ、吸い物、グラタン等、幅広く、いただけます。

（水沢青葉会）



わかりやすい

「すいざわの史跡」誌刊行

あまり人々に知られていなかった、水沢の史跡を紹介した冊子が、このほど地域社会づくり推進委員会から刊行された。掲載されている内容は光明寺跡をはじめ、城址、古墳など十五カ所と、史跡の場所がひと目でわかるイラストマップも綴じ込まれており、今日までなかっただけに、地区の人々から重宝だと喜ばれている。

水沢には史跡や伝説が多く、豊かな自然の中には、有形無形の文化遺産が残されている。その遺産から、私たちの先祖が難儀をしながら、立派に生きてきたことや、その生き方を知ることが出来る。それらがふるさととしての歴史や伝統を形成し、明日の水沢を考えるうえでの指針となっている。

社会づくり推進委員会では町の歴史を見直し、郷土への



関心を高めたいと、水沢郷土史研究会の協力を得て、昨年五月と十二月に、史跡等の案内板や標柱を設置し、その由来を解説した小史を作成、地区内の全家庭へ配布された。

牛に 自然に 人に会える



茶業振興センターや星の広場、少年自然の家などの施設や、眼下に広がる緑一面の茶畑、すばらしい眺望と観光資源にも恵まれているところである。これらの施設とのネットワーク化や乳牛育成場、機能の充実を図り

すばらしい立地

同牧場づくりは、市内ではもともと農村的な自然景観を保持している。水沢乳牛育成場を中心に計画され、昨年度策定の鈴鹿山麓レジャーレクリエーション開発基本計画、（第六次基本計画）の農村体験ゾーンの中に位置づけられている。同地域周辺は宮妻峽スポーツランド、



牧場予定地を望む

ながら、市民の憩いと、交流の場や学童の情操教育の場としても利用できるなど、併せて地域の活性化に役立つよう、牧場の整備が進められていく予定。六年度は五〇〇坪の遊歩道や、二〇〇〇坪の芝生広場、ふれあい広場、展望広場が計画されている。

「ここに来れば、街で見るのと同じでない乳牛や自然や、人に出会うことができる。」

この新鮮な感動を通して、体験・情操教育が図られたら、畜産や農業への理解が深まるのではないだろうか……。

また子牛や、ヤギ、うさぎなど小動物とふれあうことにより、動物との共存、いたわりの心を育むことにもなるのではない。



工事中の進入路



ふるさとふれあい牧場基本計画

ふるさとふれあい牧場ができてくる！

近年全国的に都市住民を中心に、農業農村とのふれあいを求める声が高まるなか、四日市市でも動植物園やハイキングが楽しめる、自然型施設の設置が望まれている。

このような中で、四日市市では「ふるさとふれあい牧場」を計画し、平成五年度に同牧場と市道水沢谷田四号線に直結する連絡道路を建設している。幅員五メートルで距離三〇〇坪の場内連絡道路が完成に向けて現在工事中である。

新鮮な感動

水沢夜ばなし

豊田くにあ

くさでこ

わしが五つ六つの頃じゃったやろかなあ。明けても暮れても、仕事、仕事のかさん(母)について、山や田や、畑へ行ったもんさ。山でも、田畑でもじゃが行ったさきの、木の葉や草の葉、花、穂、実、茎、蔓、なんでもええ、ありあわせのもんでクサデコ(人形)こしやえて(作って)もらうのを、おとなしゅうして、かさんの手もとを、じいっと見つめておったもんさ。でけた(出来た)クサデコ両手で抱いて、もう有頂天になってさ、だいじ、だいじに寝かしたり、起こしたりしてなあ。わしは、我が子には、クサデコ作ってやったけど、孫どもは、店で買ったトンコサン(昭和初期の人形)で遊ぶさかいにクサデコなんぞ、いらんげな。こしやえても、「昔くさい」たら「貧乏くさい」たら、ほざいて(言うて)相手にしてくれやへんのや。ほんとにクサデコは、昔の語りぐさになってしまった。

③この話は、昭和初期にあせごの川近くに住む老婆より聞いたものです。なお、平成3年春、四ツ谷の山下善助翁に昔話を聞かせてもらったおり、「あまのこ(女の子)は、クサデコ遊びをしとったなあ」と言っておりました。

〔訂正〕前号「水沢夜ばなし」上から12行目(大雪)とあるは大雷の間違いでした。お詫びして訂正します。

輝いています

この人

萩村 滋則さん

(十七歳)

- 四日市中央工業高校三年
- サッカー部 キャプテン
- 日本ユース代表

水沢在住または出身の若い人の中で、現在色々な分野で活躍中の人を紹介するコーナーです。第一回は、今サッカーで脚光を浴びている萩村滋則君をご紹介します。

彼は小学一年の三学期から水沢サッカー少年団の一員としてサッカーを始め、西陵中



向って右が萩村さん

二年の時すでに、その実力と才能を認められて、三重県中学校選抜で韓国遠征に参加。四日市中央工業高校に進学してからも、毎年国体の三重県代表として活躍してきました。昨年は日本ユース代表にも選ばれています。この日本ユースとは、若いサッカープレーヤーの日本代表であり、各地の百人以上の選手が東京に集まり、東西に分かれて試合をする中で決定するもので、大変名誉なことです。現在も四中工のチームをまとめるキャプテン

として、また強固なディフェンダーとして大健闘。Ｊリーグでは横浜マリノスの井原選手ファンという彼の抱負は、その井原選手のように、日本代表としてワールドカップに出場することです。この水沢から世界にはばたくサッカープレーヤーが生まれるかもしれません。皆さん応援して下さい。

水沢ミニ情報

「たのしかった スキーツアー」

地区体育活動推進協議会主催のスキーツアーは、2月10日から13日にかけて、志賀高原高天ヶ原スキー場へ出発。老若男女総数83名は、車中泊でスキー場へ。到着後、スキースクールへ入学をし、特訓の結果、全員が滑れるようになった。また、ナイトスキーも楽しんだ。

このころ、日本列島は大寒波に見舞われ、想像を絶する積雪で、交通マヒが出ていた。みんなの心配の中、怪我もなく、無事に帰宅でき、安堵した。（参加者談）



小学校視聴覚室 の利用を

水沢小学校の視聴覚室が完成したことは、前号でお知らせいたしました。文化祭でフォークダンスとカラオケ大会が行われただけで、その後はPTA以外あまり利用されていません。



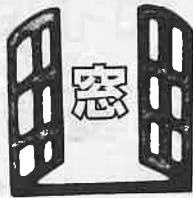
床全面にカーペットが敷きつめられ、ビデオ、スライド映写機などの設備が整えられています。映画会、講演会、音楽鑑賞会、民謡、日舞など多目的に利用できます。

平日は夜間、日祝日は終日利用できます。

利用に際しては、まず利用団体・グループの登録を地区市民センターへ、その都度の使用許可は小学校まで。

使用のきまりなど詳しくは小学校（29-8000）へお問い合わせください。

みなさんのご利用をお待ちしています。



静岡のお茶をよく飲んでい
る地域では、胃ガンの発生率
が低いと聞いた。大学の先生
が疫学的に調査されたいい。
確かに静岡は日本一の茶産地
であるから、茶をたくさん飲
むのだろう。それに茶を研究
している先生も多い。しかし
三重県内は、全国平均よりも
消費量はすくないし茶を積極

的に研究している所も決して
多くない。
これはどうしてだろうか？
地元の茶に関する意識が低く
行政への期待とか要望も少な
いからではないだろうか。

茶産地で あんながら

また、これとは直接に関係
は無いけれども、三重県が全
国第三位の茶産地といわれて
いるわりには、消費地では知
名度が低いのも気にかかる。
名古屋はおろか津でも水沢を

「すいざわ」と読める人はす
くない。
県では、茶などのブランド
化の推進を進めているが、最
終的な商品を持たない生産地
では、机上の空論となる。

そこで、伊勢茶を有名にす
るためにテレビで宣伝をすれ
ばいいとか、新聞に折り込み
を入れるとかすれば簡単に伊
勢茶ブランドが消費者に伝わ
るのかといえそう簡単には

い
かない。

生産地として、まずしな
ければならないのは、少し
でもたくさんのお茶を消費
するために、お茶を自ら消
費することではないだろう
か。それも、すいざわ特産
のかぶせ茶を！ そうすれ
ば、茶の持っている健康維
持の力で、静岡のように病
気だつて減るし消費も増え
る。

たまには、本物のかぶせ
茶を本格的な飲み方でゆっ
くりとくつろいではどうだ
ろうか。心の健康にも役立
つように思うのだが。

農業集落 排水事業

一地区で はじまる

かけがえのない地球の環境
を守ることは、私たちの子孫
にたいする責務です。

近ごろ集落内の排水がどん
どん増え農作物にたいしての
悪影響が懸念されるようにな
りました。そこで用水の水質
保全と地区内の生活環境を改
善するため水沢東町と水沢野
田町では、農業集落排水事業
を行うこととなり市の特別会
計に予算が計上されました。
具体的な設計は平成六年度
からはじまり、将来は地区内
の水質保全と生活環境改善に
寄与することとなります。

生活改善運動

地区杜協では、皆様から
いただきました寄付金を、社会
を明るくする運動へ協力、戦
没者慰霊祭、町民運動会、地
区文化祭、敬老会、青少年健
全育成事業、広域活動や地域
の環境づくりなど、広く有意
義に活用させていただいてお
ります。今後とも、生活改善
運動にご協力いただきますよ
うお願いします。

平成五年十月以降ご寄付い
ただきました方は、つぎのみ
なさんです。

水谷 正様（四ツ谷町）

森田	忠林様（本町）
清水	俊一様（西條町）
森田	利明様（本町）
森田	正男様（東町）
清水	善章様（西條町）
山中	昭於様（西條町）
清水	仁司様（西條町）
光本	信一様（中谷町）
武市	勝之様（本町）
市橋	愛爾様（西條町）
清水	きみ様（東町）
（敬老祝金）	



▼昨年の米の不作により、外
国産米の緊急輸入や国産米の
買だめ等、日本人の主食であ
る米をめぐって混乱が起きた。
▼昨年国民の期待をうけて、
誕生した細川政権は八カ月で
終ってしまった。景気は底を
ついて回復傾向というが、そ
の実感はまだない。
▼今回新しく「この人」の欄
をもうけました。皆様からの
ご推せんをお願いします。
▼前号のミニ情報で、学校解
放の字は開放の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。
▼広報編集委員、年二回の発
行に向けて頑張っています。
皆さんも奮って投稿して下さい。